



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月4日

上場会社名 株式会社角川ホールディングス（コード番号：9477 東京証券取引所市場第一部）

（URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長兼COO 氏名 本間 明生
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役統括マネジャー 氏名 大河原 宏 TEL (03) 3238-8401

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有（税金費用の計算は簡便法による）
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有（連結：新規2社）

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期（当期）純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 18年3月期第1四半期 | 33,681 | 11.4 | 1,500 | △41.9 | 1,443 | △38.5 | 614 | △54.9 |
| 17年3月期第1四半期 | 30,231 | 38.6 | 2,583 | 181.9 | 2,348 | 93.1 | 1,362 | 163.7 |
| （参考）17年3月期 | 121,845 | | 7,698 | | 5,873 | | 1,329 | |

| | 1株当たり四半期（当期）純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益 | |
|-------------|-----------------|----|------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 18年3月期第1四半期 | 23 | 83 | 21 | 74 |
| 17年3月期第1四半期 | 53 | 16 | 52 | 15 |
| （参考）17年3月期 | 47 | 67 | 44 | 21 |

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 | |
|-------------|---------|--------|--------|-----------|----|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 18年3月期第1四半期 | 142,932 | 79,853 | 55.9 | 3,155 | 45 |
| 17年3月期第1四半期 | 130,620 | 78,150 | 59.8 | 3,049 | 60 |
| （参考）17年3月期 | 153,913 | 80,160 | 52.1 | 3,107 | 15 |

【連結キャッシュ・フローの状況】

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|-------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 18年3月期第1四半期 | △1,346 | △1,981 | △6,277 | 27,200 |
| 17年3月期第1四半期 | 1,016 | △8,105 | 15,256 | 27,818 |
| （参考）17年3月期 | 9,952 | △7,455 | 11,412 | 36,791 |

3. 平成18年3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

| | 予想売上高 | 予想経常利益 | 予想当期純利益 | 1株当たり予想当期純利益 | |
|-----|---------|--------|---------|--------------|----|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 | 銭 |
| 中間期 | 73,500 | 2,400 | 580 | | |
| 通期 | 150,000 | 7,400 | 3,100 | 114 | 00 |

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページを参照してください。

1. 定性的情報等

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関して

当四半期（平成17年4月～6月）における日本経済は、政府月例経済報告によれば、6月に「弱さを脱する動きがみられ緩やかに回復」と基調判断が上方修正され、IT分野の在庫調整の継続、輸出の回復の遅れ等があるものの企業の業況判断が好転し、雇用情勢、個人消費も堅調で、踊り場から脱却する動きが続く情勢で推移しました。

出版業界は、社団法人出版科学研究所の調査によれば、当四半期の出版物推定販売金額は、雑誌、書籍ともに前年同期実績と同水準となりました。

映画業界は、社団法人日本映画製作者連盟の調査によれば、当四半期の映画興行収入概算額は、過去10年間で年間最高成績を記録した前年のような大型ヒット作品に恵まれなかったため、前年同期間の81%となりました。

映像ソフト業界は、社団法人日本映像ソフト協会の調査によれば、当四半期のDVDソフト出荷額は、前年同期間の91%となりました。

このような環境のもと、当社グループは、出版事業と映像事業を両輪とする「出版と映像の総合メディア企業」としての事業基盤をより拡充すべく、基本方針である多様なコンテンツの創出とマーケティング強化に努めました。出版事業は、書籍（文庫、一般書及びコミックス）部門の売上好調が前期から続いています。ソフト事業は、当四半期から前期に子会社化した日本ヘラルド映画グループの損益計算書が連結の対象となったことで売上規模が拡大しましたが、利益面では厳しい状況となりました。デジタルコンテンツ事業は、売上、利益ともに順調に進展しています。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高336億81百万円（前年同期間比111.4%）、営業利益15億円（前年同期間比58.1%）、経常利益14億43百万円（前年同期間比61.5%）、当期純利益6億14百万円（前年同期間比45.1%）となりました。

なお、連結子会社数は、KADOKAWA HOLDINGS CHINA LTD. とKADOKAWA HONG KONG LTD. を新たに設立したことで、合計35社となりました。

各事業セグメントの概況は次のとおりです。

出版事業セグメントは、売上高216億59百万円（前年同期間比96.3%）、セグメント営業利益19億11百万円（前年同期間比102.4%）となりました。

<雑誌・広告部門>

厳しい景況感に伴う低調な業界環境の影響を受けていますが、多様な領域でのブランド力を活かし、市場における認知度の強化に努めています。

テレビ番組情報誌「週刊ザテレビジョン」「月刊ザテレビジョン」（ともに角川書店）、都市情報誌「WALKER」「大人のウォーカー」シリーズ（角川書店・角川書店北海道）、アニメ・コミック誌「ニュータイプ」（角川書店）、ゲーム情報誌「週刊ファミ通」（エンターブレイン）「電撃PlayStation」（メディアワークス）、ホビー誌「電撃HOBBY MAGAZINE」（メディアワークス）、生活情報誌「レタスクラブ」（角川SSコミュニケーションズ）、パソコン情報誌「週刊アスキー」（アスキー）、競馬情報誌「サラブレ」（エンターブレイン）等が、それぞれの分野における確固たるブランド力を背景に、堅調を維持しました。

<書籍部門>

編集企画力及びマーケティング力の強化策の継続により、話題作、ヒット作に恵まれる好調が持続しています。

単行本は、「ダ・ヴィンチ・コード（上・下）」（角川書店 ダン・ブラウン著）の勢いは当期になっても衰えず、同著者の既刊「天使と悪魔（上・下）」新刊「デセプション・ポイント（上・下）」（ともに角川書店）も、連動して好成績を記録しました。他では、「ナラタージュ」（角川書店 島本理生著）「サウスパウンド」（角川書店 奥田英朗著）等が、ヒット作品となりました。また、映画とのメディアミックスにより「戦国自衛隊1549」（角川書店 福井晴敏著）が、売上を伸ばしました。

さらに、角川グループ創立60周年記念企画「KADOKAWA世界名作シネマ全集」（角川書店 全24巻配本期間2年）の刊行を開始し、話題を集めました。

文庫は、「疾走（上・下）」（角川書店 重松清著）「札幌殺人事件（上・下）」（角川書店 内田康夫著）「アジアンタムブルー」（角川書店 大崎善生著）「ファースト・プライオリティー」（角川書店 山本文緒著）等が好調な売上を記録しました。

コミックスは、人気シリーズとして多くのファンに支持されている「機動戦士ガンダムTHE ORIGIN（9）」（角川書店 安彦良和著）「NHKによろこ！（3）」（角川書店 大岩ケンヂ・滝本竜彦著）「GUNSLINGER GIRL（5）」（メディアワークス 相田裕著）等がヒット作品となりました。また、テレビアニメとのメディアミックスが好調の「ケロロ軍曹」シリーズ（角川書店 吉崎観音著）は、商品展開をさらに広げつつあります。

ゲーム関連本は、「ロマンシング サガー ミンストレルソングー パーフェクトガイド」「モンスターハンターG 公式ガイドブック」（ともにエンターブレイン）「ファイナルファンタジー11 電撃の旅団編ファッション2005」（メディアワークス）等が、ゲーム人気と連動して着実に売上を伸ばしました。

ソフト事業セグメントは、売上高105億64百万円（前年同期間比162.1%）、セグメント営業利益75百万円（前年同期間比7.3%）となりました。

映画配給は、「着信アリ2」（角川映画）「コーラス」「甘い人生」（ともに日本ヘラルド映画）、ドリームワークス作品「シャーク・テイル」「レモニー・スニケットの世にも不幸せな物語」等が売上を伸ばしました。

DVD販売は、ドリームワークス作品「ターミナル」（角川エンタテインメント）が出荷数50万本を超えたほか、「インストール」（角川映画）「ステップフォード・ワイフ」（角川エンタテインメント）「モーターサイクル・ダイアリーズ」（日本ヘラルド映画）等が売上を伸ばしました。また、アニメシリーズ「GIRLSブラボー」「フルメタル・パニック！」（ともに角川書店）等が、根強い人気で好調を継続しました。

ゲームソフト販売は、「ベルウィックサーガ」（エンターブレイン）が20万本を超える売上を記録したほか、「戦闘国家_改_NEW OPERATIONS」（角川書店）等がヒット作品となりました。

また、角川映画では、「雨と夢のあとに」等のテレビドラマ制作、豊富な保有ライブラリーを活用したテレビセールス及び権利ビジネスにおいても、着実に売上を伸ばしました。

デジタルコンテンツ事業セグメントは、売上高10億19百万円（前年同期間比104.6%）、セグメント営業利益1億13百万円（前年同期間比90.0%）となりました。

サイト運営ビジネスは、日本最大級のエンタテインメント系情報サイト「walkerplus.com」（ウォーカープラス）が事業領域を拡大しております。

コンテンツ配信ビジネスは、角川インタラクティブ・メディア、角川デジックスが、好調を継続しています。携帯ビジネスは、「モバイルウォーカー」（ウォーカープラス）「モバイルファミ通（ゲーム情報）」「MelodyClip♪（着信メロディ配信）」（ともにエンターブレイン）等が順調に売上を伸ばしました。

物流業、広告代理店業等から構成されるその他事業セグメントは、売上高4億38百万円（前年同期間比184.7%）、セグメント営業利益1億52百万円（前年同期間比94.3%）となりました。

物流事業では、継続して合理化を進めています。また、広告代理店業では、事業範囲を拡大しつつあります。

（2）財政状態（連結）の変動状況に関して

資産は、期首に比べて109億80百万円減少し、1,429億32百万円となりました。借入金の返済、自己株式の取得等の結果、現金及び預金が減少しました。

負債は、期首に比べて102億90百万円減少し、618億12百万円となりました。借入金を返済したほか、支払手形及び買掛金も減少しました。

株主資本は、期首に比べて3億7百万円減少し、798億53百万円となりました。保有株式の時価総額増加によりその他有価証券評価差額金が増加しましたが、一方、資本の払戻しに当たる自己株式の取得を行いました。

株主資本比率は、期首に比べて3.8ポイント上がり、55.9%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務決済額と法人税等支払額の増加等により、前年同期間比23億63百万円減の13億46百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産と投資有価証券の取得支出額の増加等により、前年同期間比61億23百万円増の19億81百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金返済額と自己株式取得支出額の増加等により、前年同期間比215億34百万円減の62億77百万円の支出となりました。

合計95億91百万円の支出となり、現金及び現金同等物期末残高は、272億円となりました。

（3）業績予想に関して

当第1四半期の連結業績は、売上は前年同期間実績を上回りましたが、利益は、出版事業は好調だったものの、ソフト事業において、前年のゲームソフト販売に匹敵する大ヒットがなかったこと等により、全体で前年同期間実績を下回りました。ただし、中間期の業績予想に対しては、売上、利益ともに予定通りの進捗となっています。

第2四半期以降も引き続き、グループをあげて、出版、ソフト、デジタルコンテンツの各分野で事業展開力の拡充を図り、優良コンテンツの創出と販売に邁進するとともに、事業構造改革をBPRから業態改革へと進化させながら継続推進することにより、一層の収益力向上に努める所存です。

今後、期待できる商品も数多くありますが、現時点では、業績予想は中間期、通期ともに期初策定値のとおりといたします。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

| 科目 | 当第1四半期 (平成17年6月30日) | 前第1四半期 (平成16年6月30日) | 増減 | | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) |
|---------------------|------------------------|------------------------|---------------|--------------|-------------------------|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 増減率 | 金額 |
| (資産の部) | | | | | |
| I 流動資産 | | | | | |
| 1. 現金及び預金 | 24,012 | 27,255 | △3,243 | | 34,260 |
| 2. 受取手形及び売掛金 | 27,915 | 27,389 | 525 | | 32,113 |
| 3. 有価証券 | 2,499 | 3,800 | △1,300 | | 2,701 |
| 4. たな卸資産 | 11,461 | 7,243 | 4,217 | | 11,446 |
| 5. 繰延税金資産 | 2,001 | 1,781 | 220 | | 1,951 |
| 6. その他 | 7,419 | 3,139 | 4,280 | | 5,514 |
| 7. 貸倒引当金 | △129 | △136 | 6 | | △130 |
| 流動資産合計 | 75,181 | 70,474 | 4,707 | 6.7 | 87,857 |
| II 固定資産 | | | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | | | |
| 1. 建物及び構築物 | 8,767 | 5,373 | 3,393 | | 8,836 |
| 2. 工具器具及び備品 | 1,542 | 1,168 | 374 | | 1,699 |
| 3. 土地 | 10,916 | 8,684 | 2,231 | | 10,916 |
| 4. その他 | 360 | 225 | 134 | | 342 |
| 有形固定資産合計 | 21,587 | 15,452 | 6,134 | 39.7 | 21,795 |
| (2) 無形固定資産 | | | | | |
| 1. 連結調整勘定 | 6,273 | 7,555 | △1,282 | | 6,732 |
| 2. その他 | 1,829 | 1,984 | △155 | | 1,923 |
| 無形固定資産合計 | 8,102 | 9,539 | △1,437 | △15.1 | 8,655 |
| (3) 投資その他の資産 | | | | | |
| 1. 投資有価証券 | 24,948 | 19,917 | 5,031 | | 22,521 |
| 2. 繰延税金資産 | 1,015 | 899 | 116 | | 1,020 |
| 3. その他 | 12,414 | 14,748 | △2,334 | | 12,401 |
| 4. 貸倒引当金 | △316 | △411 | 94 | | △337 |
| 投資その他の資産合計 | 38,061 | 35,154 | 2,907 | 8.3 | 35,604 |
| 固定資産合計 | 67,751 | 60,146 | 7,604 | 12.6 | 66,056 |
| 資産合計 | 142,932 | 130,620 | 12,312 | 9.4 | 153,913 |

(単位：百万円、%)

| 科目 | 当第1四半期 (平成17年6月30日) | 前第1四半期 (平成16年6月30日) | 増減 | | 前連結会計年度 (平成17年3月31日) |
|------------------------|------------------------|------------------------|---------------|--------------|-------------------------|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 増減率 | 金額 |
| (負債の部) | | | | | |
| I 流動負債 | | | | | |
| 1. 支払手形及び買掛金 | 21,802 | 18,252 | 3,550 | | 27,127 |
| 2. 短期借入金 | 6,593 | 8,258 | △1,664 | | 10,079 |
| 3. 未払法人税等 | 1,322 | 1,080 | 241 | | 2,002 |
| 4. 賞与引当金 | 543 | 519 | 24 | | 1,085 |
| 5. 返品調整引当金 | 2,853 | 2,318 | 534 | | 3,087 |
| 6. その他 | 9,736 | 5,622 | 4,113 | | 9,847 |
| 流動負債合計 | 42,851 | 36,051 | 6,799 | 18.9 | 53,230 |
| II 固定負債 | | | | | |
| 1. 社債 | 11,400 | 11,400 | — | | 11,400 |
| 2. 長期借入金 | 2,489 | 86 | 2,403 | | 2,831 |
| 3. 繰延税金負債 | 2,960 | 2,349 | 610 | | 2,573 |
| 4. 退職給付引当金 | 1,365 | 1,087 | 278 | | 1,418 |
| 5. 役員退職慰労引当金 | — | 501 | △501 | | 610 |
| 6. その他 | 745 | 32 | 712 | | 38 |
| 固定負債合計 | 18,960 | 15,456 | 3,504 | 22.7 | 18,873 |
| 負債合計 | 61,812 | 51,508 | 10,303 | 20.0 | 72,103 |
| (少数株主持分) | | | | | |
| I 少数株主持分 | 1,266 | 961 | 304 | 31.7 | 1,649 |
| (資本の部) | | | | | |
| I 資本金 | 24,330 | 24,330 | — | — | 24,330 |
| II 資本剰余金 | 25,374 | 25,381 | △6 | △0.0 | 25,374 |
| III 利益剰余金 | 27,580 | 27,925 | △344 | △1.2 | 27,847 |
| IV 土地再評価差額金 | △587 | △587 | — | — | △587 |
| V その他有価証券評価差額金 | 6,026 | 2,559 | 3,467 | 135.4 | 4,772 |
| VI 為替換算調整勘定 | △220 | △117 | △103 | 88.4 | △542 |
| VII 自己株式 | △2,651 | △1,343 | △1,308 | 97.4 | △1,035 |
| 資本合計 | 79,853 | 78,150 | 1,703 | 2.2 | 80,160 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 142,932 | 130,620 | 12,312 | 9.4 | 153,913 |

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

| 科目 | 当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日) | 前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) | 増減 | | 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日) |
|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------|-------------|--|
| | 金額 | 金額 | 金額 | 増減率 | 金額 |
| I 売上高 | 33,681 | 30,231 | 3,450 | 11.4 | 121,845 |
| II 売上原価 | 25,562 | 21,811 | 3,751 | 17.2 | 88,716 |
| 売上総利益 | 8,118 | 8,419 | △300 | △3.6 | 33,128 |
| 返品調整引当金戻入額 | 3,087 | 2,402 | 684 | | 2,402 |
| 返品調整引当金繰入額 | 2,853 | 2,318 | 534 | | 3,087 |
| 差引売上総利益 | 8,352 | 8,503 | △150 | △1.8 | 32,443 |
| III 販売費及び一般管理費 | 6,852 | 5,920 | 931 | 15.7 | 24,744 |
| 営業利益 | 1,500 | 2,583 | △1,082 | △41.9 | 7,698 |
| IV 営業外収益 | | | | | |
| 1. 受取利息 | 5 | 7 | △1 | | 34 |
| 2. 受取配当金 | 71 | 64 | 6 | | 93 |
| 3. 受取保険金 | 48 | 22 | 26 | | 298 |
| 4. 古紙売却益 | 22 | 29 | △6 | | 108 |
| 5. その他 | 61 | 12 | 49 | | 72 |
| 営業外収益合計 | 209 | 135 | 73 | 54.3 | 607 |
| V 営業外費用 | | | | | |
| 1. 支払利息 | 38 | 8 | 30 | | 34 |
| 2. 持分法による投資損失 | 204 | 343 | △139 | | 2,325 |
| 3. その他 | 23 | 18 | 4 | | 72 |
| 営業外費用合計 | 266 | 370 | △104 | △28.1 | 2,433 |
| 経常利益 | 1,443 | 2,348 | △904 | △38.5 | 5,873 |
| VI 特別利益 | | | | | |
| 1. 固定資産売却益 | 13 | — | 13 | | 18 |
| 2. 投資有価証券売却益 | 8 | 1 | 6 | | 4 |
| 3. 貸倒引当金戻入額 | 13 | 28 | △14 | | — |
| 4. 過年度償却済債権取立益 | — | — | — | | 6 |
| 特別利益合計 | 35 | 30 | 5 | 16.5 | 29 |
| VII 特別損失 | | | | | |
| 1. 固定資産除却損 | 29 | 1 | 27 | | 48 |
| 2. 投資有価証券売却損 | — | — | — | | 5 |
| 3. 投資有価証券評価損 | — | — | — | | 193 |
| 4. 投資評価引当金繰入額 | — | — | — | | 2 |
| 5. 会員権売却損 | — | 1 | △1 | | 2 |
| 6. 会員権評価損 | — | — | — | | 20 |
| 7. 特別割増退職金 | — | — | — | | 101 |
| 8. 事務所移転費用 | — | — | — | | 575 |
| 9. 火災損失 | — | — | — | | 132 |
| 10. 訴訟関連費用 | — | — | — | | 113 |
| 特別損失合計 | 29 | 3 | 26 | 814.9 | 1,195 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,449 | 2,375 | △926 | △39.0 | 4,708 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,163 | 954 | 209 | 21.9 | 3,422 |
| 法人税等調整額 | — | — | — | — | △285 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △328 | 58 | △387 | — | 240 |
| 当期純利益 | 614 | 1,362 | △748 | △54.9 | 1,329 |

注) 当第1四半期及び前第1四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日) | 前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日) |
|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| | 金額 | 金額 | 金額 |
| (資本剰余金の部) | | | |
| I 資本剰余金期首残高 | 25,374 | 25,381 | 25,381 |
| II 資本剰余金減少高 | — | — | 6 |
| 1. 自己株式処分差損 | — | — | 6 |
| III 資本剰余金期末残高 | 25,374 | 25,381 | 25,374 |
| (利益剰余金の部) | | | |
| I 利益剰余金期首残高 | 27,847 | 26,957 | 26,957 |
| II 利益剰余金増加高 | 614 | 1,362 | 1,329 |
| 1. 当期純利益 | 614 | 1,362 | 1,329 |
| III 利益剰余金減少高 | 881 | 394 | 439 |
| 1. 配当金 | 772 | 320 | 320 |
| 2. 役員賞与金 | 105 | 74 | 74 |
| 3. 持分法適用関連会社の増加に伴う減少高 | — | — | 14 |
| 4. 自己株式処分差損 | 3 | — | 30 |
| IV 利益剰余金期末残高 | 27,580 | 27,925 | 27,847 |

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科目 | 当第1四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年6月30日) | 前第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日) | 前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日) |
|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| | 金額 | 金額 | 金額 |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,449 | 2,375 | 4,708 |
| 減価償却費 | 473 | 361 | 1,576 |
| 連結調整勘定償却額 | 480 | 427 | 1,706 |
| 退職給付引当金の増減額 | △52 | △119 | 176 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 | △610 | 2 | 111 |
| 受取利息及び受取配当金 | △76 | △72 | △128 |
| 支払利息 | 38 | 8 | 34 |
| 持分法による投資損益 | 204 | 343 | 2,325 |
| 投資有価証券評価損 | — | — | 193 |
| 売上債権の増減額 | 4,848 | 2,535 | 208 |
| たな卸資産の増減額 | △29 | △344 | △1,337 |
| 仕入債務の増減額 | △5,761 | △2,451 | 1,406 |
| 役員賞与の支払額 | △107 | △76 | △76 |
| その他 | 93 | △635 | 2,412 |
| 小計 | 948 | 2,353 | 13,318 |
| 利息及び配当金の受取額 | 93 | 71 | 121 |
| 利息の支払額 | △67 | △10 | △37 |
| 法人税等の支払額 | △2,321 | △1,396 | △3,450 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,346 | 1,016 | 9,952 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有価証券の取得による支出 | — | △999 | △999 |
| 有価証券の売却等による収入 | 200 | 700 | 2,300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,153 | △49 | △2,553 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △153 | △295 | △520 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △808 | △205 | △1,079 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | 9 | 16 | 3,183 |
| 子会社株式の取得による支出 | △21 | △0 | △0 |
| 出資金の払込による支出 | — | △6,573 | △10,919 |
| 保険積立金解約による収入 | 147 | 377 | 4,440 |
| その他 | △200 | △1,076 | △1,305 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,981 | △8,105 | △7,455 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 短期借入金の純増減額 | △3,383 | 4,284 | 247 |
| 社債の発行による収入 | — | 11,387 | 11,382 |
| 自己株式の取得による支出 | △1,642 | — | △0 |
| 配当金の支払額 | △772 | △320 | △320 |
| その他 | △478 | △94 | 103 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △6,277 | 15,256 | 11,412 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 15 | 1 | 3 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | △9,591 | 8,169 | 13,912 |
| VI 現金及び現金同等物期首残高 | 36,791 | 19,648 | 19,648 |
| VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額 | — | — | 3,230 |
| VIII 現金及び現金同等物期末残高 | 27,200 | 27,818 | 36,791 |

(5) セグメント情報

当第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

| | 出版事業 | ソフト事業 | デジタルコ ンテンツ 事業 | その他事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|------------------|--------|--------|---------------------|-------|--------|---------|--------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 21,659 | 10,564 | 1,019 | 438 | 33,681 | — | 33,681 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 198 | 30 | 505 | 952 | 1,687 | (1,687) | — |
| 計 | 21,857 | 10,594 | 1,524 | 1,391 | 35,368 | (1,687) | 33,681 |
| 営業費用 | 19,946 | 10,518 | 1,411 | 1,239 | 33,115 | (935) | 32,180 |
| 営業利益 | 1,911 | 75 | 113 | 152 | 2,252 | (752) | 1,500 |

前第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

| | 出版事業 | ソフト事業 | デジタルコ ンテンツ 事業 | その他事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|------------------|--------|-------|---------------------|-------|--------|---------|--------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 22,499 | 6,518 | 974 | 237 | 30,231 | — | 30,231 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 184 | 26 | 494 | 788 | 1,494 | (1,494) | — |
| 計 | 22,684 | 6,545 | 1,469 | 1,026 | 31,725 | (1,494) | 30,231 |
| 営業費用 | 20,818 | 5,502 | 1,343 | 864 | 28,528 | (880) | 27,647 |
| 営業利益 | 1,866 | 1,043 | 126 | 161 | 3,197 | (613) | 2,583 |

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

| | 出版事業 | ソフト事業 | デジタルコ ンテンツ 事業 | その他事業 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|------------------|--------|--------|---------------------|-------|---------|---------|---------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 95,504 | 20,438 | 4,139 | 1,763 | 121,845 | — | 121,845 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 777 | 141 | 1,906 | 3,162 | 5,988 | (5,988) | — |
| 計 | 96,281 | 20,580 | 6,045 | 4,925 | 127,833 | (5,988) | 121,845 |
| 営業費用 | 88,928 | 18,893 | 5,490 | 4,327 | 117,639 | (3,493) | 114,146 |
| 営業利益 | 7,353 | 1,686 | 555 | 598 | 10,193 | (2,494) | 7,698 |

注) 各区分に属する主要な製品及び役務

- (1) 出版事業…雑誌、書籍
- (2) ソフト事業…映画、ビデオソフト、ゲームソフト等
- (3) デジタルコンテンツ事業…ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
- (4) その他事業…物流、不動産賃貸等